

太田商工会議所管内景況調査報告書

(第99回)

2021年 7月～9月期 実績

2021年 10月～12月期 見通し

太田商工会議所

〒373-8521 群馬県太田市浜町3-6

TEL 0276(45)2121

FAX 0276(45)1088

URL <http://www.otacci.or.jp>

E-Mail info@staff.otacci.or.jp

太田商工会議所 景況調査 目次

調査要項・・・・・・・・・・・・・・・・	1
----------------------	---

調査目的や対象企業（業種）、回答率など

設問に対する業種別回答・・・・・・・・	2
---------------------	---

9つの質問に対する業種別による回答状況

業種別D I 値について・・・・・・・・	5
----------------------	---

6つの業種ごとのD I 値及び回答企業からのコメント

全体D I 値について・・・・・・・・	9
---------------------	---

全ての業種を併せたD I 値と1年間の推移
動向について

比較資料編・・・・・・・・・・・・・・・・	10
-----------------------	----

同様の景況調査を行っている機関とのデータ比較
(中小企業基盤整備機構、日本商工会議所LOBO調査、日銀短観)

【調査要項】

1. 目的

管内経済動向を把握し、併せて経営者への情報提供とするとともに、今後の経営指導の資料とする。

2. 調査時点及び対象期間

- ① 調査時点 令和3年9月
- ② 調査対象期間 今期（令和3年7月～9月期）に対する前期（令和3年4月～6月期）及び前年同期（令和2年7月～9月期）との比較実績、並びに今後3ヶ月間の業況見通しについて調査。

3. 調査対象

当所会員事業所の業種を5つ（製造業、建設業、卸売業、小売業、サービス業）に分類し、製造業に関しては、更に「輸送機器」と「その他製造業」に分けた。

調査対象先の企業数については、太田商工会議所会員事業所の業種割合にて按分し、下記の通り調査を実施した。

4. 回答状況

	依頼数		回答数	回答率
全 体	270	→	215	79.6 (%)
輸送機器	40	→	33	82.5 (%)
その他製造	40	→	36	90.0 (%)
建設業	50	→	39	78.0 (%)
卸売業	30	→	20	66.7 (%)
小売業	40	→	33	82.5 (%)
サービス業	70	→	54	77.1 (%)

5. D I 値について

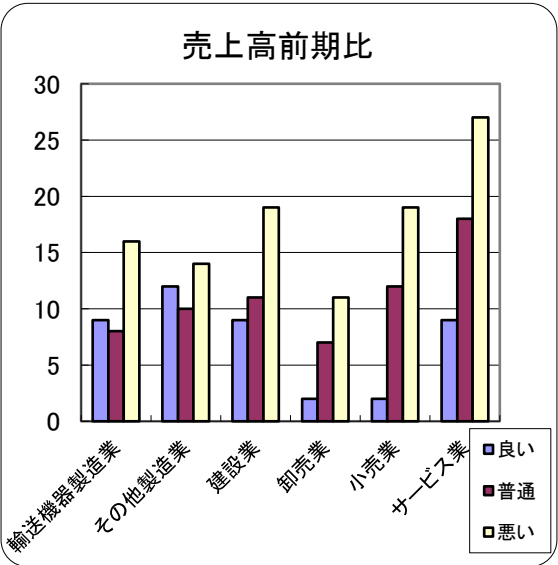
D I とは、ディフュージョン・インデックス (Diffusion Index) の略で、良い（増加）と答えた企業の割合から、悪い（減少）と答えた企業の割合を引いたもので、企業経営者の景況判断をみる指標である。

（例：ある設問において、「良い」と答えた企業…15% 「悪い」と答えた企業…25%の場合、D I 値は▲10.0となる。）

(1)設問に対する業種別回答

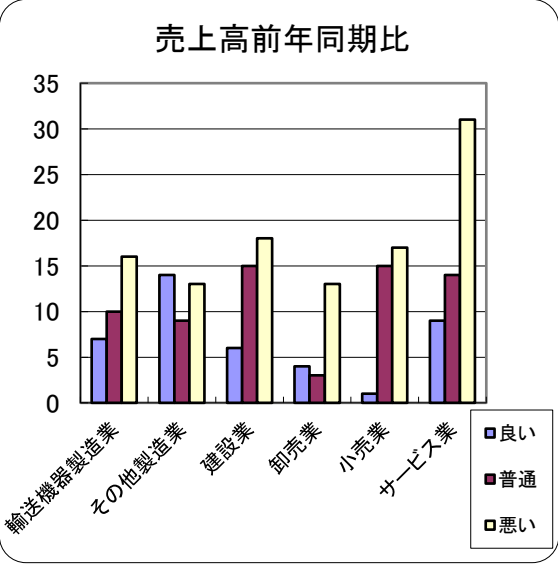
売上高前期比

	良い	普通	悪い	合計	DI値
輸送機器製造業	9	8	16	33	▲ 21.2
その他製造業	12	10	14	36	▲ 5.6
建設業	9	11	19	39	▲ 25.6
卸売業	2	7	11	20	▲ 45.0
小売業	2	12	19	33	▲ 51.5
サービス業	9	18	27	54	▲ 33.3
合計	43	66	106	215	▲ 29.3



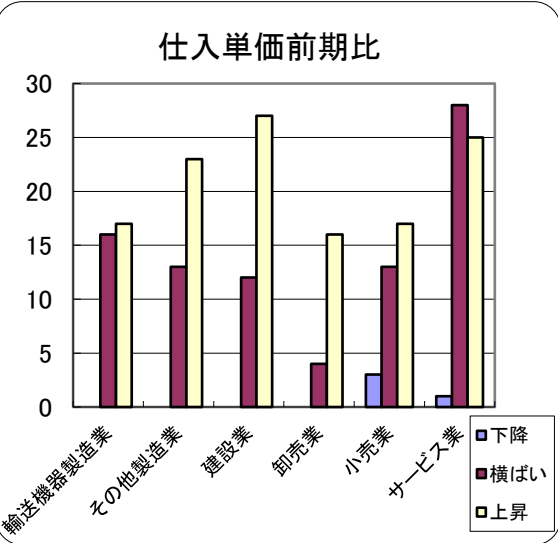
売上高前年同期比

	良い	普通	悪い	合計	DI値
輸送機器製造業	7	10	16	33	▲ 27.3
その他製造業	14	9	13	36	2.8
建設業	6	15	18	39	▲ 30.8
卸売業	4	3	13	20	▲ 45.0
小売業	1	15	17	33	▲ 48.5
サービス業	9	14	31	54	▲ 40.7
合計	41	66	108	215	▲ 31.2



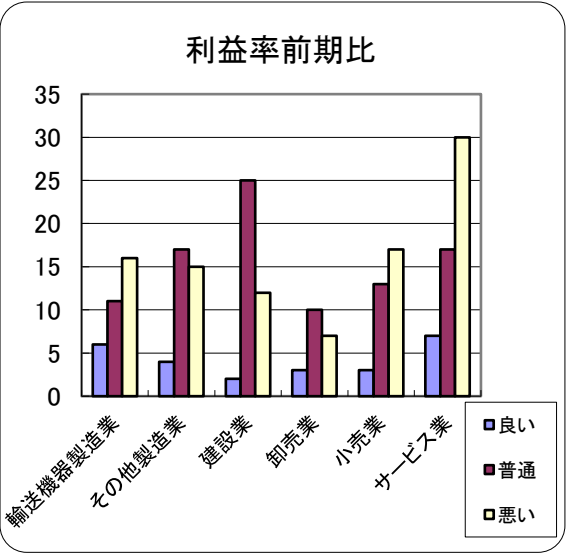
仕入単価前期比

	下降	横ばい	上昇	合計	DI値
輸送機器製造業	0	16	17	33	▲ 51.5
その他製造業	0	13	23	36	▲ 63.9
建設業	0	12	27	39	▲ 69.2
卸売業	0	4	16	20	▲ 80.0
小売業	3	13	17	33	▲ 42.4
サービス業	1	28	25	54	▲ 44.5
合計	4	86	125	215	▲ 56.3



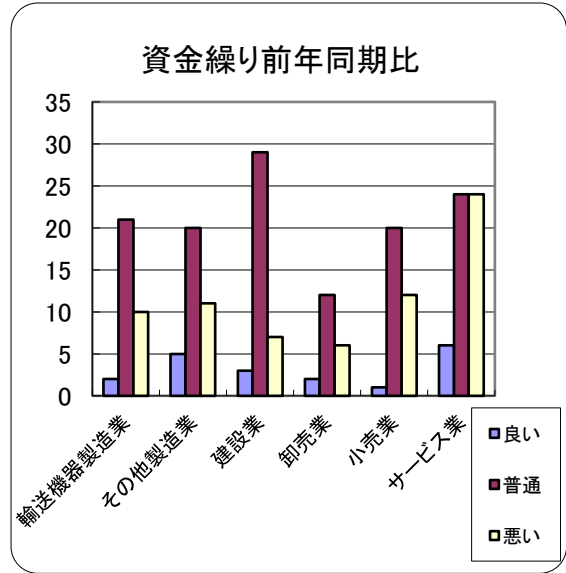
利益率前期比

	良い	普通	悪い	合計	DI値
輸送機器製造業	6	11	16	33	▲ 30.3
その他製造業	4	17	15	36	▲ 30.6
建設業	2	25	12	39	▲ 25.6
卸売業	3	10	7	20	▲ 20.0
小売業	3	13	17	33	▲ 42.4
サービス業	7	17	30	54	▲ 42.6
合計	25	93	97	215	▲ 33.5



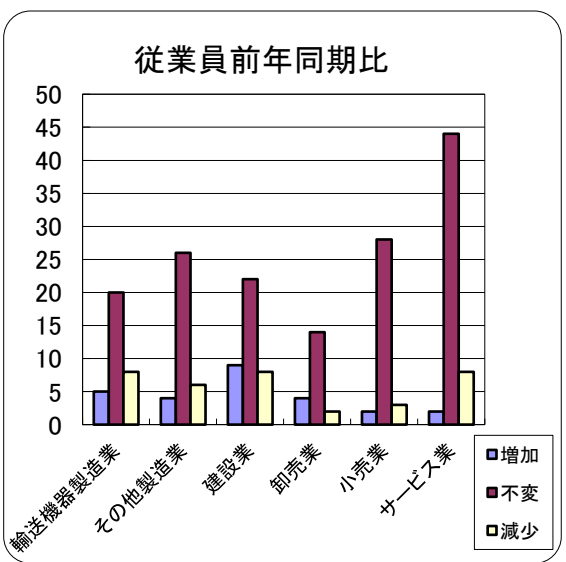
資金繰り前年同期比

	良い	普通	悪い	合計	DI値
輸送機器製造業	2	21	10	33	▲ 24.2
その他製造業	5	20	11	36	▲ 16.7
建設業	3	29	7	39	▲ 10.3
卸売業	2	12	6	20	▲ 20.0
小売業	1	20	12	33	▲ 33.3
サービス業	6	24	24	54	▲ 33.3
合計	19	126	70	215	▲ 23.7



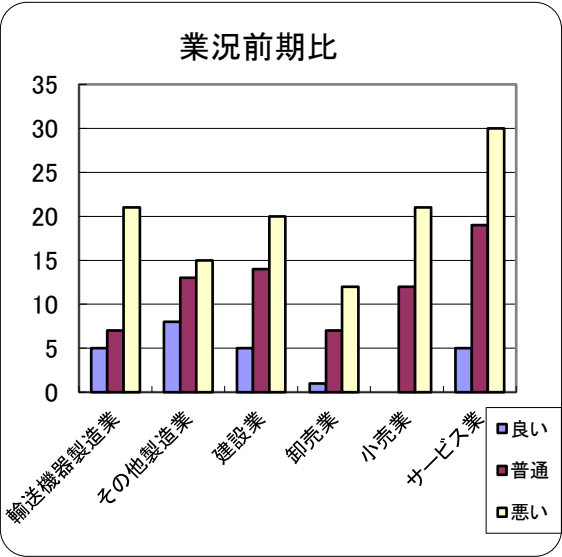
従業員前年同期比

	増加	不変	減少	合計	DI値
輸送機器製造業	5	20	8	33	▲ 9.1
その他製造業	4	26	6	36	▲ 5.6
建設業	9	22	8	39	2.6
卸売業	4	14	2	20	10.0
小売業	2	28	3	33	▲ 3.0
サービス業	2	44	8	54	▲ 11.1
合計	26	154	35	215	▲ 4.2



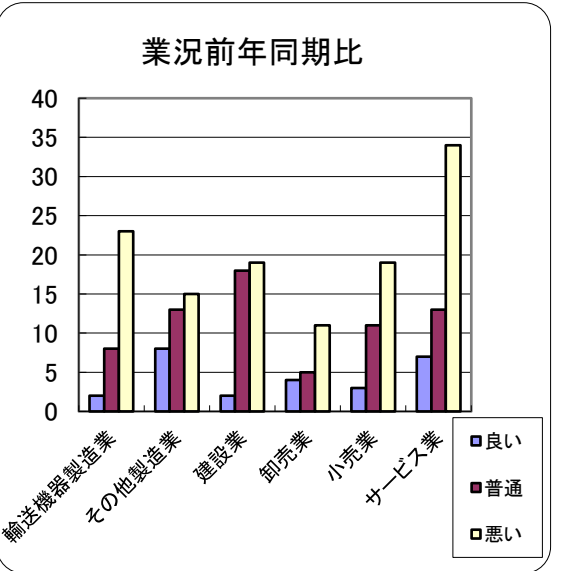
業況前期比

	良い	普通	悪い	合計	DI値
輸送機器製造業	5	7	21	33	▲ 48.5
その他製造業	8	13	15	36	▲ 19.5
建設業	5	14	20	39	▲ 38.5
卸売業	1	7	12	20	▲ 55.0
小売業	0	12	21	33	▲ 63.6
サービス業	5	19	30	54	▲ 46.3
合計	24	72	119	215	▲ 44.2



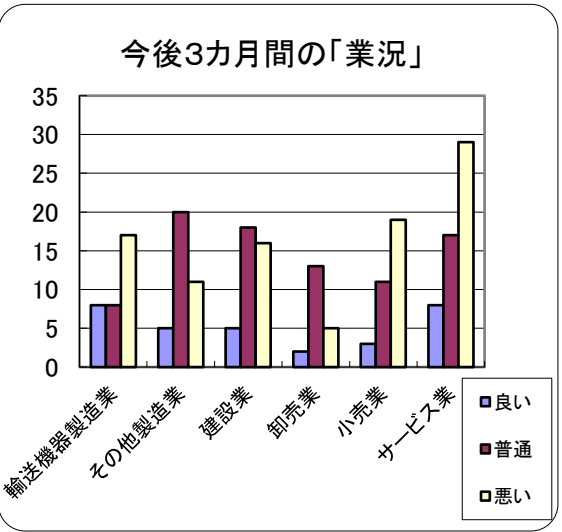
業況前年同期比

	良い	普通	悪い	合計	DI値
輸送機器製造業	2	8	23	33	▲ 63.6
その他製造業	8	13	15	36	▲ 19.5
建設業	2	18	19	39	▲ 43.6
卸売業	4	5	11	20	▲ 35.0
小売業	3	11	19	33	▲ 48.5
サービス業	7	13	34	54	▲ 50.0
合計	26	68	121	215	▲ 44.2



今後3ヶ月間の「業況」見通し

	良い	普通	悪い	合計	DI値
輸送機器製造業	8	8	17	33	▲ 27.3
その他製造業	5	20	11	36	▲ 16.7
建設業	5	18	16	39	▲ 28.2
卸売業	2	13	5	20	▲ 15.0
小売業	3	11	19	33	▲ 48.5
サービス業	8	17	29	54	▲ 38.9
合計	31	87	97	215	▲ 30.7



(2)業種別DI値について

輸送機器	前期(4～6月期)	今期(7～9月期)	比較増減
売上高前期比	▲ 48.6	▲ 21.2	27.4
売上高前年同期比	22.9	▲ 27.3	▲ 50.2
仕入単価前期比	▲ 45.7	▲ 51.5	▲ 5.8
利益率前期比	▲ 45.7	▲ 30.3	15.4
資金繰り前年同期比	0.0	▲ 24.2	▲ 24.2
従業員前年同期比	8.6	▲ 9.1	▲ 17.7
業況前期比	▲ 34.3	▲ 48.5	▲ 14.2
業況前年同期比	0.0	▲ 63.6	▲ 63.6
今後3ヶ月間の業況見通し	2.9	▲ 27.3	▲ 30.2

[企業コメントより]

- ・半導体の不足、コロナによる影響で海外からの部品がストップしている関係で、生産が減少している【電装品】
- ・コロナ、半導体(不足)により自動車ラインがSTOPする影響が長期化【弱電部品】
- ・材料等、仕入単価が複数回上がっており厳しい【エンジン部品】
- ・主要完成車メーカーの操業停止による影響大【内装部品】
- ・全てにおいて物の動きが悪くなっている。また、資材や消費財の価格が4月以降上昇が停まらない状態で、業況が悪くなっている【自動車用金属部品加工】
- ・東南アジアのコロナウイルスによる(調達先)休業の影響【内装部品】
- ・新規アイテム、取り扱い品種の増加(があった)【外装部品塗装】

その他製造業	前期(4～6月期)	今期(7～9月期)	比較増減
売上高前期比	▲ 15.2	▲ 5.6	9.6
売上高前年同期比	6.1	2.8	▲ 3.3
仕入単価前期比	▲ 51.5	▲ 63.9	▲ 12.4
利益率前期比	▲ 6.1	▲ 30.6	▲ 24.5
資金繰り前年同期比	▲ 21.2	▲ 16.7	4.5
従業員前年同期比	▲ 9.1	▲ 5.6	3.5
業況前期比	▲ 21.2	▲ 19.5	1.7
業況前年同期比	▲ 9.1	▲ 19.5	▲ 10.4
今後3ヶ月間の業況見通し	▲ 12.1	▲ 16.7	▲ 4.6

[企業コメントより]

- ・前期に比べて良いのは商品が季節に合うため、(一方)前年同期に比べて悪いのはコロナの影響をもろに被るためである【ニット製品製造】
- ・半導体不足→電気部品納期遅延→自社製品納品遅延→入金遅延→資金繰り悪化
- ・先行き不透明のため取引先の設備投資計画延期→受注金額の伸び悩み【産業用機械設備製造】
- ・引合は増えているが、仕入単価の増加と納期遅れが深刻化している【省力化機械設備製造】
- ・東南アジアにおけるロックダウンの影響により、業界内で部材調達リスクが顕在化し生産上の課題となっている状況。(これまでの業績は)好調に推移していたが、今後の見通しは不透明【家電製品製造】
- ・季節要因により前期に比べ売上高は良かったが、新型コロナウイルス感染症の新規陽性者が大幅増加したことにより、また何ら対策が講じられていないことにより、飲食店、観光業が多なる影響を受け瀕死の状態となっている。自粛以外の異次元の対策を講じる必要がある【食料品製造】
- ・コロナが始まり(売上げが)底辺まで落ち込み、這い上がれず【住宅用内装品製造】
- ・アルミがどんどん価格上昇している。4月注文分から+30円/kgが、更に10月注文分から+30円/kgになる。
- ・アルミ地金NSP推移表では2020/10月で240円/kgが、2021/10月は350円/kgになっている。材料費が高くなっているが、その分を見積りに入れてもなかなか仕事が受注できなくなっている。安い金額でないとなかなか受注できない【アルミ製品加工】
- ・資材価格の上昇【パレット製造】

建設業	前期(4～6月期)	今期(7～9月期)	比較増減
売上高前期比	▲ 54.4	▲ 25.6	28.8
売上高前年同期比	▲ 34.8	▲ 30.8	4.0
仕入単価前期比	▲ 58.7	▲ 69.2	▲ 10.5
利益率前期比	▲ 37.0	▲ 25.6	11.4
資金繰り前年同期比	▲ 21.7	▲ 10.3	11.4
従業員前年同期比	2.2	2.6	0.4
業況前期比	▲ 45.7	▲ 38.5	7.2
業況前年同期比	▲ 28.3	▲ 43.6	▲ 15.3
今後3ヶ月間の業況見通し	▲ 34.8	▲ 28.2	6.6

- [企業コメントより]
- ・県の土木工事が減っているように感じる【総合建設業】
 - ・今後は悪化(方向)にいくことが予想される【エクステリア工事】
 - ・制御機器など部品類の仕入納期が6カ月(と長期化している)ものが多数あり。物件がこなせない状況になっている【電気工事】
 - ・一部メーカーの海外生産品(において)部品不足等のトラブルあり大変！【電気工事】
 - ・ウッドショックの影響(が大きい)【一般住宅】

卸売業	前期(4～6月期)	今期(7～9月期)	比較増減
売上高前期比	▲ 58.3	▲ 45.0	13.3
売上高前年同期比	▲ 33.3	▲ 45.0	▲ 11.7
仕入単価前期比	▲ 45.8	▲ 80.0	▲ 34.2
利益率前期比	▲ 29.2	▲ 20.0	9.2
資金繰り前年同期比	▲ 20.8	▲ 20.0	0.8
従業員前年同期比	4.2	10.0	5.8
業況前期比	▲ 58.3	▲ 55.0	3.3
業況前年同期比	▲ 33.3	▲ 35.0	▲ 1.7
今後3ヶ月間の業況見通し	▲ 29.2	▲ 15.0	14.2

- [企業コメントより]
- ～特になし

小売業	前期(4～6月期)	今期(7～9月期)	比較増減
売上高前期比	▲ 9.1	▲ 51.5	▲ 42.4
売上高前年同期比	▲ 24.2	▲ 48.5	▲ 24.3
仕入単価前期比	▲ 36.4	▲ 42.4	▲ 6.0
利益率前期比	▲ 24.2	▲ 42.4	▲ 18.2
資金繰り前年同期比	▲ 15.2	▲ 33.3	▲ 18.1
従業員前年同期比	3.0	▲ 3.0	▲ 6.0
業況前期比	▲ 27.3	▲ 63.6	▲ 36.3
業況前年同期比	▲ 30.3	▲ 48.5	▲ 18.2
今後3ヶ月間の業況見通し	▲ 27.3	▲ 48.5	▲ 21.2

- [企業コメントより]
- ・コロナの影響か商店街に人が歩いていない。買物に出かけるムードが無いのか？ 買物客が増えるように願っている【手芸用品】
 - ・テイクアウトがメインの昼のみの業態のため(業況に変化なし)【菓子製造販売】
 - ・緊急事態宣言や再緊急事態宣言でお客様の足が重くなっている(人の出が少ない)。
 - ・節約ムードが出てきている【食料品等販売】

- ・弊社は小売業(物販)ですが、コロナ禍での外出自粛要請、緊急事態宣言の繰り返し発令、延長の為、上得意客をはじめ、客数・客単価減に見舞われている【化粧品等販売】
- ・長引くコロナ禍で消費者心理が節約志向に変わっていると思う【食品販売】
- ・新型コロナによる緊急事態宣言が発令されたため、飲食店のアルコール提供がなくなり、業務用販売の売上が大幅に減少したため【飲料販売】
- ・コロナによるものと思われる【米穀・雑貨販売】
- ・新規顧客が増えるなど、良い点もあるが、取引先の条件等が厳しくなり、大変困惑している【化粧品等販売】
- ・8月の繁忙期に天候不順があり、売上高が昨年より減少した。コロナの影響もあり、業績見通しが不鮮明【生花店】
- ・メイン商品のたばこが10月1日から値上げされる。9月は駆け込み需要があるが、10月以降のたばこ離れが気かり【嗜好品販売】

サービス業	前期(4～6月期)	今期(7～9月期)	比較増減
売上高前期比	▲ 36.2	▲ 33.3	2.9
売上高前年同期比	▲ 17.2	▲ 40.7	▲ 23.5
仕入単価前期比	▲ 36.2	▲ 44.5	▲ 8.3
利益率前期比	▲ 43.1	▲ 42.6	0.5
資金繰り前年同期比	▲ 24.1	▲ 33.3	▲ 9.2
従業員前年同期比	▲ 8.6	▲ 11.1	▲ 2.5
業況前期比	▲ 44.8	▲ 46.3	▲ 1.5
業況前年同期比	▲ 39.7	▲ 50.0	▲ 10.3
今後3ヶ月間の業況見通し	▲ 37.9	▲ 38.9	▲ 1.0

[企業コメントより]

- ・社内外の複合的要因による【情報サービス】
- ・自動車生産の停止の影響で悪化。半導体部品の不足後、東南アジア生産の部品の供給が細り(仕事が減少)、特に9月は最悪【陸送業】
- ・半導体不足の為、商品車の生産が大変落ち込んだ【陸送業】
- ・荷量が減ってきている【倉庫業】
- ・依然として、コロナ終息に向けては国や自治体から自粛要請があるが、どんなに対策や予防を講じてもゼロコロナは不可能である。従って民間レベルでは、自己責任で感染対策を施しながら、モードチェンジを考える必要があるのでは？【広告代理店】
- ・時短営業が長く続いているため、なかなか売り上げは伸びずにいます。昨年よりもさらに悪くなっています【レストラン】
- ・緊急事態宣言下のため、ディナー需要が急減。5、6月の時短の協力金が、申し込んでから8週目にして下りたためほっとしているが、資金繰りは悪いままである。このような状況下でも次の展開を考えないといけない。DX化に向けてIT補助金に挑戦している【レストラン】
- ・原材料の高騰により、業況の見通しは極めて悪い方向へ行きそうです【飲食店】
- ・10月1日からの営業展開がどうなるかだと思う。人の動きが出て来る事を祈ります。
- ・新しい宴会スタイルも考えなくてはいけないと思う【外食サービス】
- ・コロナが収束しなければ、コロナ以前の来客数や売上高になかなか戻らない【理容業】
- ・単価の値上げによるもの。今後は不変か下がるか【資源回収】
- ・自動車エンドメーカーの部品仕入状況が悪いため生産数を下げざるをえない状況で、発生する金属端材等が出てこないのので売る物が無い状態。これでは月の一定額かかる経費も払う事が難しくなってきている。昨年の方がまだ部品不足が無くて売る物があり状況は良かった【資源回収】
- ・群馬県下の緊急事態宣言において、大幅な売上げダウン、収益が悪化してしまった。長引くようだとかかなり厳しい【飲食店】
- ・前年は他県におりコロナの影響がとても大きく、比較のしようがない状況です。
- ・前期と比べると、コロナの増加により、お客様減少が続いています【療術業】

- 緊急事態宣言による時短営業で従来の営業ができない期間が続いたが、ワクチンの接種率が上がり、11月には飲食店の営業規制が緩和されるという情報もあり、少しずつ業況は良くなって行くのではないかと考えている。何とか年末年始の繁忙期には、もう時短営業しなければならないということがないことを願っているが、長く続いた自粛で一度離れた顧客をどう取り戻すか、新規顧客をどう増やすかをずっと考えている。それと、コロナによる輸入食材の高騰には参っている。これは、コロナが収束したとしても、今後の飲食業の大きな課題だと感じる【飲食店】
- 緊急事態宣言で平常の営業が出来なさすぎて、売上に支障がでている【飲食店】
- 自粛ムードが薄れてきている【教育サービス】
- 前年同期より悪いとなると、とんでもない事態。それが現実には起きている。いつまで続くのか、どこまで回復するのか不安しかない【飲食店】
- (今後の業績見通しについては)コロナの様子により(どうなるか)わからない【衣料品レンタル】

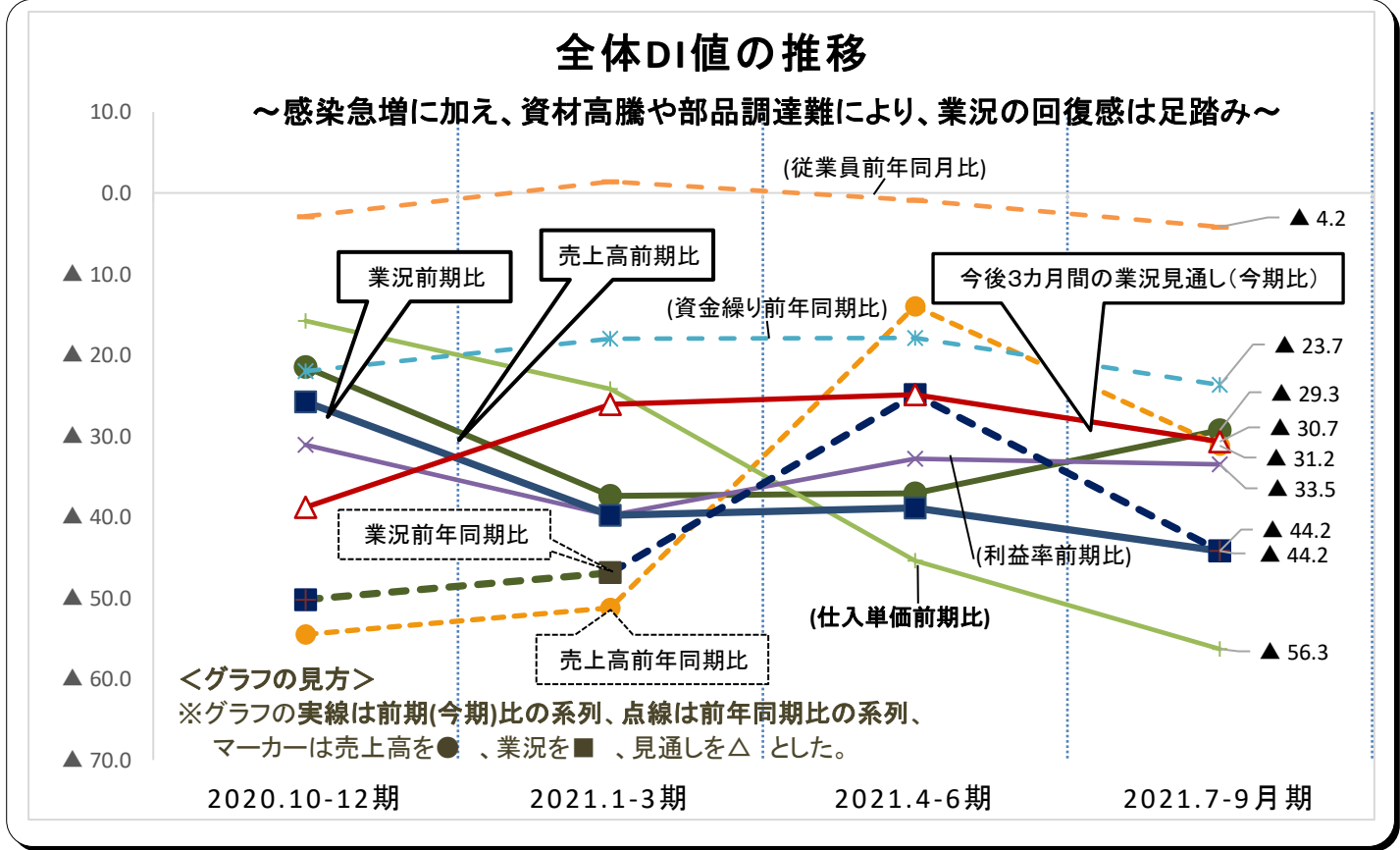
(3) 全体DI値について

全 体 D I 値	前期(4～6月期)	今期(7～9月期)	比較増減
売上高前期比	▲ 37.1	▲ 29.3	7.8
売上高前年同期比	▲ 14.0	▲ 31.2	▲ 17.2
仕入単価前期比	▲ 45.4	▲ 56.3	▲ 10.9
利益率前期比	▲ 32.8	▲ 33.5	▲ 0.7
資金繰り前年同期比	▲ 17.9	▲ 23.7	▲ 5.8
従業員前年同期比	▲ 0.9	▲ 4.2	▲ 3.3
業況前期比	▲ 38.9	▲ 44.2	▲ 5.3
業況前年同期比	▲ 24.9	▲ 44.2	▲ 19.3
今後3ヶ月間の業況見通し	▲ 24.9	▲ 30.7	▲ 5.8

(4) 動向について

- ・今期の景況を前期比でみると、最も目立ったのは仕入単価DIの低下(=資材価格の上昇)であった。このため多くの業種で売上が持ち直す一方で利益率は横ばい、全体の業況DIはやや低下した。
- ・一方、反動増のあった前年7～9月期との比較では、大半の業種で売上DI・業況DIともに低下した。
- ・業況DIの前期比の変動幅をみると、緊急事態宣言の影響を受けた小売業の▲36.3ポイント、半導体部品の調達難で完成車メーカーの製造停止のあった輸送機器の▲14.2ポイントなどが目立った。
- ・今後3ヶ月間の業況見通しDIは、全体ではやや低下を予想。引き続き輸送機器、小売業で大幅な悪化を見込み、これ以外の業種でも強弱まちまちの予想と、業績の回復感足踏みの状況である。

全 体 D I 値 の 推 移	2020.10-12期	2021.1-3期	2021.4-6期	2021.7-9月期
売上高前期比	▲ 21.5	▲ 37.4	▲ 37.1	▲ 29.3
売上高前年同期比	▲ 54.5	▲ 51.2	▲ 14.0	▲ 31.2
仕入単価前期比	▲ 15.8	▲ 24.2	▲ 45.4	▲ 56.3
利益率前期比	▲ 31.1	▲ 39.8	▲ 32.8	▲ 33.5
資金繰り前年同期比	▲ 22.0	▲ 18.0	▲ 17.9	▲ 23.7
従業員前年同期比	▲ 2.9	1.4	▲ 0.9	▲ 4.2
業況前期比	▲ 25.8	▲ 39.8	▲ 38.9	▲ 44.2
業況前年同期比	▲ 50.2	▲ 46.9	▲ 24.9	▲ 44.2
今後3ヶ月間の業況見通し	▲ 38.8	▲ 26.1	▲ 24.9	▲ 30.7



(4)比較資料編

当所調査のDI値をもとに、同様の景況調査を行っている機関とのデータ比較を行った。

(なお、日本商工会議所のLOBO調査については毎月調査となっているため、1～3月の平均値でDI値を算出)

①売上高前期比DI (「増加」と答えた割合－「減少」と答えた割合)

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	▲ 13.0	▲ 14.3	－	－
建設業	▲ 25.6	▲ 19.3	－	－
卸売業	▲ 45.0	▲ 24.2	－	－
小売業	▲ 51.5	▲ 37.3	－	－
サービス業	▲ 33.3	▲ 31.5	－	－
全 体	▲ 29.3	▲ 26.5	－	－

②売上高前年同期比DI (「増加」と答えた割合－「減少」と答えた割合)

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	▲ 11.6	－	▲ 6.7	5.4
建設業	▲ 30.8	－	▲ 18.0	1.7
卸売業	▲ 45.0	－	▲ 20.3	
小売業	▲ 48.5	－	▲ 42.1	
サービス業	▲ 40.7	－	▲ 28.8	
全 体	▲ 31.2	－	▲ 23.3	2.5

(↑ 非製造業という括り)

③仕入単価前期比DI (「下降」と答えた割合－「増加」と答えた割合)

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	▲ 58.0	－	▲ 48.2	－
建設業	▲ 69.2	－	▲ 59.4	－
卸売業	▲ 80.0	－	▲ 42.7	－
小売業	▲ 42.4	－	▲ 30.9	－
サービス業	▲ 44.5	－	▲ 29.7	－
全 体	▲ 56.3	－	▲ 40.9	－

(仕入単価・前年同期比)

④利益率前期比DI (「好転」と答えた割合－「悪化」と答えた割合)

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	▲ 30.4	▲ 21.0	▲ 16.3	23.4
建設業	▲ 25.6	▲ 27.1	▲ 21.3	4.0
卸売業	▲ 20.0	▲ 25.3	▲ 27.6	
小売業	▲ 42.4	▲ 46.0	▲ 42.0	
サービス業	▲ 42.6	▲ 38.6	▲ 35.9	
全 体	▲ 33.5	▲ 33.7	▲ 29.0	8.9

(採算・前年同期比) (採算・前年同期比) (経常利益・前年同期比)

⑤資金繰り前年同期比DI (「好転」と答えた割合－「悪化」と答えた割合)

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(全規模)
製造業	▲ 20.3	▲ 14.6	▲ 12.4	13.0
建設業	▲ 10.3	▲ 9.1	▲ 4.6	10.0
卸売業	▲ 20.0	▲ 12.3	▲ 13.9	
小売業	▲ 33.3	▲ 28.2	▲ 28.4	
サービス業	▲ 33.3	▲ 23.8	▲ 31.2	
全 体	▲ 23.7	▲ 19.9	▲ 19.6	11.0

(前期比)

(直近比)

⑥従業員前年同期比DI（「増加」と答えた割合－「減少」と答えた割合）

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	▲ 7.2	▲ 7.5	—	—
建設業	2.6	▲ 3.4	—	—
卸売業	10.0	▲ 5.3	—	—
小売業	▲ 3.0	▲ 4.0	—	—
サービス業	▲ 11.1	▲ 8.2	—	—
全 体	▲ 4.2	▲ 6.2	—	—

⑦業況前期比DI（「好転」と答えた割合－「悪化」と答えた割合）

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	▲ 33.3	▲ 17.5	—	▲ 3.0
建設業	▲ 38.5	▲ 15.9	—	6.0
卸売業	▲ 55.0	▲ 24.3	—	▲ 11.0
小売業	▲ 63.6	▲ 40.8	—	▲ 21.0
サービス業	▲ 46.3	▲ 33.4	—	▲ 70.0
全 体	▲ 44.2	▲ 28.4	—	▲ 8.0

（サービス業は宿泊・飲食の数字）

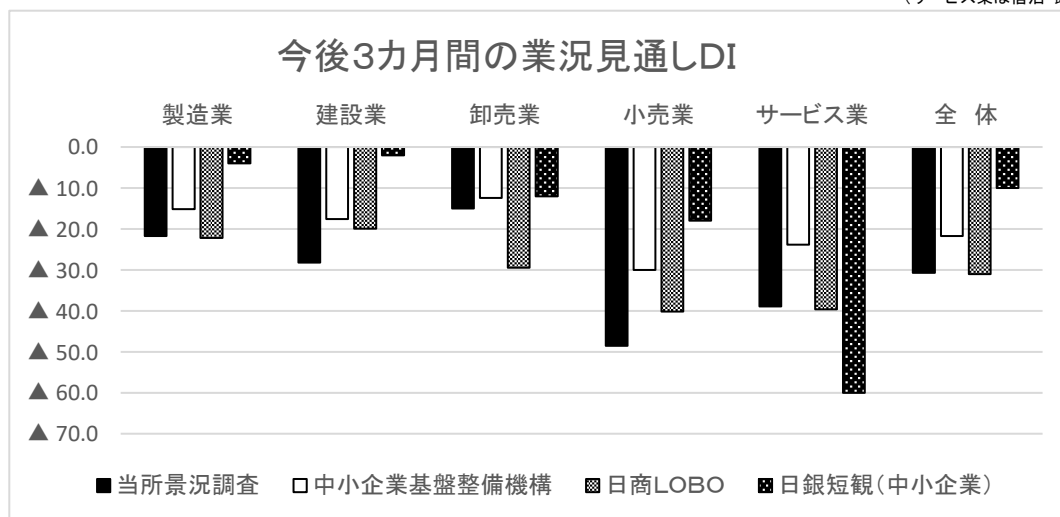
⑧業況前年同期比DI（「好転」と答えた割合－「悪化」と答えた割合）

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	▲ 40.6	—	▲ 13.4	—
建設業	▲ 43.6	—	▲ 19.3	—
卸売業	▲ 35.0	—	▲ 31.3	—
小売業	▲ 48.5	—	▲ 43.3	—
サービス業	▲ 50.0	—	▲ 36.9	—
全 体	▲ 44.2	—	▲ 28.9	—

⑨今後3ヶ月間の業況見通しDI（「好転」と答えた割合－「悪化」と答えた割合）

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	▲ 21.7	▲ 15.2	▲ 22.2	▲ 4.0
建設業	▲ 28.2	▲ 17.6	▲ 19.9	▲ 2.0
卸売業	▲ 15.0	▲ 12.4	▲ 29.5	▲ 12.0
小売業	▲ 48.5	▲ 30.0	▲ 40.2	▲ 18.0
サービス業	▲ 38.9	▲ 23.8	▲ 39.6	▲ 60.0
全 体	▲ 30.7	▲ 21.7	▲ 31.0	▲ 10.0

（サービス業は宿泊・飲食の数字）



太田商工会議所管内景況調査報告書

～調査・分析・発行～

太田商工会議所

〒 373-8521

群馬県太田市浜町3-6

TEL 0276 (45) 2121

FAX 0276 (45) 1088

URL <http://www.otacci.or.jp>

Mail info@staff.otacci.or.jp

2021年（令和3年）10月13日 発行